

# 地域課題で意見交換

知事囲み懇談会 I L C 実現もにらみ

県商議所連



県商工会議所連合会（会長・谷村邦久盛岡商工会議所会頭）の2017年度「知事囲み懇談会」は16日、盛岡市内のホテルで開かれた。県内9商議所の会頭らが地域の現状や抱える課題などを発表し、盛岡拓也知事がそれぞれの課題に関して所感をコメントした。

9商議所の会頭・副会頭、専務理事と盛岡地域、藤澤敦子県商工労働観光部副部長、高橋毅県経営支援課総括課長ら関係者約30人が出席。会頭らが地域課題や各商議所の取り組みなどについて盛岡市で開かれた県商工会議所連合会の「知事囲み懇談会」

日に県と台湾の格安航空会社・タイガーエア台湾による「国際定期路線の実現の連携に関する覚書」の締結が整った花巻空港の利用促進をはじめ、国道4号の4車線化、医

師確保の取り組みの推進を要望。一関商議所の佐藤悦博会頭は「関市と陸前高田市をつなぐ国道343号新笹ノ田トンネルの建設促進について」「大船渡港に大型クルーズ船が入港した際の内陸への観光客誘引、国際リニアコライダー（I L C）の資材運搬などの利便性も増す。県として調査費を計上していただければありがたい」と要望した。

盛岡知事は花巻空港の空港利用促進に関し、タイガーエア台湾との覚書締結について「初の国際定期便就航に向けて大きく前進したと思う」との認識を示し、「岩手全体の産業や観光の振興にも花巻空港を活用したインバウンド（訪日外国人旅行者）の推進が大きく寄与する。民商と行政が一体となって利用促進活動を進めたい」と述べた。

新笹ノ田トンネルについては「安定的な事業予算の確保が課題で、事業効果や投資の効率性を確認することが必要。I L Cの実現に向けた進捗もにらみながら検討する必要がある」と語った。このほか、国道4号の4車線化は「東北有数の産業集積地である北上川流域地帯の国道4号整備は極めて重要。引き続き北上1号花巻間など車線区間の早期事業化を地元関係者と連携して国に要望したい」とした。I L Cについては「地方創生や復興にも大きく寄与する。今年には正念場であり、積極的に要望活動など実現に向けた手を打っていきたい」と述べた。

発表し、北上は「県南地域の産業活動を支える国道の整備促進」、奥州は「雇用状況と地場企業の経営力強化」、花巻は「いわて花巻空港のさらなる利用促進と地域課題2点」、一関は「新笹ノ田トンネルの建設促進」についてそれぞれ語った。このうち、花巻商議所の佐々木博副会頭は、15